

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公開番号】特開 2020-54667 (P2020-54667A)

【公開日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-014

【出願番号】特願 2018-187890 (P2018-187890)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
特定表示領域を含む複数の表示領域のうち少なくとも何れか 1 つにおいて特別表示を表示することによって前記有利状態に制御される割合を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段を備え、

前記示唆演出では、複数種類の演出パターンのうち何れか 1 つに従った順番で各表示領域において前記特別表示が表示され、

前記複数種類の演出パターンの何れに従って前記示唆演出を実行する場合でも、前記特定表示領域における前記特別表示が最後に表示され、

さらに、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信される情報にもとづいて演出の制御を実行可能な演出制御手段と、

前記演出制御手段により制御され、演出に係わる画像を表示可能な演出表示手段と、を
備え、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部を有し、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、

前記設定状態であるときに、該設定状態であることを認識可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、

前記特殊表示は、遊技中において前記情報表示部に表示される表示とは異なる表示であり、

前記情報表示部に前記特殊表示が表示されているときに、前記可変表示部において前記可変表示は実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
特定表示領域を含む複数の表示領域のうち少なくとも何れか1つにおいて特別表示を表示することによって前記有利状態に制御される割合を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段を備え、
前記示唆演出では、複数種類の演出パターンのうち何れか1つに従った順番で各表示領域において前記特別表示が表示され、
前記複数種類の演出パターンの何れに従って前記示唆演出を実行する場合でも、前記特定表示領域における前記特別表示が最後に表示され、
さらに、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、
前記遊技制御手段から送信される情報にもとづいて演出の制御を実行可能な演出制御手段と、
前記演出制御手段により制御され、演出に係わる画像を表示可能な演出表示手段と、を
備え、
前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部を有し、
確認条件が成立したときに前記設定手段により設定されている設定値の確認を行うことが可能な確認状態に移行し、
前記確認状態であるときに、該確認状態であることを認識可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、
前記特殊表示は、遊技中において前記情報表示部に表示される表示とは異なる表示であり、
前記情報表示部に前記特殊表示が表示されているときに、前記可変表示部において前記可変表示は実行されない
ことを特徴とする遊技機。

【**手続補正2**】
【**補正対象書類名**】明細書
【**補正対象項目名**】0006
【**補正方法**】変更
【**補正の内容**】
【**0006**】
(A) 上記目的を達成するため、本発明に係る一の遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
特定表示領域を含む複数の表示領域のうち少なくとも何れか1つにおいて特別表示を表示することによって前記有利状態に制御される割合を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段を備え、
前記示唆演出では、複数種類の演出パターンのうち何れか1つに従った順番で各表示領域において前記特別表示が表示され、
前記複数種類の演出パターンの何れに従って前記示唆演出を実行する場合でも、前記特定表示領域における前記特別表示が最後に表示され、
さらに、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、
前記遊技制御手段から送信される情報にもとづいて演出の制御を実行可能な演出制御手段と、
前記演出制御手段により制御され、演出に係わる画像を表示可能な演出表示手段と、を
備え、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部を有し、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、

前記設定状態であるときに、該設定状態であることを認識可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、

前記特殊表示は、遊技中において前記情報表示部に表示される表示とは異なる表示であり、

前記情報表示部に前記特殊表示が表示されているときに、前記可変表示部において前記可変表示は実行されない

ことを特徴としている。

(B) 上記目的を達成するため、本発明に係る一の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

特定表示領域を含む複数の表示領域のうち少なくとも何れか1つにおいて特別表示を表示することによって前記有利状態に制御される割合を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段を備え、

前記示唆演出では、複数種類の演出パターンのうち何れか1つに従った順番で各表示領域において前記特別表示が表示され、

前記複数種類の演出パターンの何れに従って前記示唆演出を実行する場合でも、前記特定表示領域における前記特別表示が最後に表示され、

さらに、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信される情報にもとづいて演出の制御を実行可能な演出制御手段と、

前記演出制御手段により制御され、演出に係わる画像を表示可能な演出表示手段と、を備え、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部を有し、

確認条件が成立したときに前記設定手段により設定されている設定値の確認を行うことが可能な確認状態に移行し、

前記確認状態であるときに、該確認状態であることを認識可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、

前記特殊表示は、遊技中において前記情報表示部に表示される表示とは異なる表示であり、

前記情報表示部に前記特殊表示が表示されているときに、前記可変表示部において前記可変表示は実行されない

ことを特徴としている。

(1) 上記目的を達成するため、他の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当り遊技状態など)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、

特定表示領域(例えば図9-1に示す第3枠領域AK3など)を含む複数の表示領域(例えば図9-1に示す第1枠領域AK1~第5枠領域AK5など)のうち少なくとも何れか1つにおいて特別表示(例えば図9-2に示すカード画像CA1~カード画像CB5など)を表示することによって前記有利状態に制御される割合を示唆する示唆演出(例えばカード演出やキャラクタ実体化演出、ランプステップアップ演出など)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば図9-4のカード演出設定処理や図9-15のカード演出実行処理を実行する演出制御用CPU120など)を備え、

前記示唆演出では、複数種類の演出パターンのうち何れか1つに従った順番で各表示領

域において前記特別表示が表示され（例えばカード演出では、図 9 - 7（a）に示す複数種類の演出パターンのうち何れか 1 つに従った順番で第 1 枠領域 A K 1 ~ 第 5 枠領域 A K 5 それぞれにおいてカード画像 C A 1 ~ カード画像 C B 5 が表示される）、

前記複数種類の演出パターンの何れに従って前記示唆演出を実行する場合でも、前記特定表示領域における前記特別表示が最後に表示され（例えば図 9 - 7（a）に示す複数種類の演出パターンの何れに従ってカード演出を実行する場合でも、第 3 枠領域 A K 3 におけるカード画像の表示が最後に実行される）、

さらに、

前記有利状態に制御されることを示唆する特定示唆演出（例えば、リーチ演出）を実行可能な特定示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0）と、

前記特定示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記特定示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該特定示唆演出に対応したタイトルを報知可能であり（例えば図 1 0 - 2（D）や図 1 0 - 2（F）に示すようにリーチ演出のタイトルを表示する部分）、

前記特定示唆演出実行手段は、前記特定示唆演出として少なくとも第 1 示唆演出（例えばスーパーリーチ A やスーパーリーチ B のリーチ演出）と第 2 示唆演出（例えばスーパーリーチ D やスーパーリーチ E のリーチ演出）とを実行可能であり、

前記タイトル報知手段は、前記第 2 示唆演出では、当該第 2 示唆演出の開始時から当該第 2 示唆演出に対応したタイトルを報知する（例えば、図 1 0 - 2（H）に示すように、スーパーリーチ D のリーチ演出の開始から該スーパーリーチ D のリーチ演出に対応したタイトル 3 1 A K 0 0 7 を表示する部分）

ことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような構成によれば、示唆演出の最後にいずれの表示領域に注目すればよいかが遊技者に分かり難くなることを防止できる。